

令和4年度 社会福祉法人安中市社会福祉協議会事業報告

総括

少子高齢化や人口減少の進行とともに、家族形態の変容や住民相互のつながりの希薄化により、地域社会を取り巻く環境は厳しさを増し、コミュニティの弱体化や生活困窮、地域からの孤立等が深刻化してきています。そして、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域課題がさらに複雑化し長期化しています。

そのような中、地域福祉の推進については、地域住民同士の支えい活動の重要性が高まっており、見守り活動や孤立を防止するふれあい・いきいきサロンの強化等が求められています。そして、複雑化する地域課題や新型コロナウイルスの影響により、困窮した世帯を支援するしくみの開発及び活動者のサポートが必要となっています。

本会では、「支え合いと協働によるやすらぎのある地域をめざして」を基本理念として、第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画を実現するために、地域福祉の向上を目標に掲げ、地縁組織や福祉関係団体等と連携し、地域福祉のネットワーク構築を図りました。本年度も、不特定多数の方が集まるイベントや行事が縮小となることが多く、地域活動においても新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、必要に応じて実施してまいりました。

生活支援部門では、生活福祉資金特例貸付の借受人を対象に、イベント型フードバンクで生活状況の把握や自立するために必要な福祉サービスの調整を行い、自立生活に向けて寄り添い支援を行いました。

また、権利擁護部門では、成年後見事業を促進するために担当者会議やアンケートを実施して事業推進を図りました。法人後見では、法人後見準備委員会を設置し、事業実施に向けて本格的に検討を重ね準備を整えてきました。介護部門でも、介護運営推進会議を実施し、事業運営や事業の効率化、質の高い介護事業を推進するために協議を重ね、事業基盤強化を図りました。

地域福祉部門では、新型コロナウイルスの影響により計画どおり執行することが困難な状況でしたが、生活支援事業や在宅福祉サービス、障害福祉サービスとして多機能型支援施設COSMOS事業を行いました。本会理事・評議員をはじめとする関係機関・団体並びに市民の皆様のご尽力・ご協力の賜と深く感謝申し上げます。

特に、重点目標とした課題(1)～(4)について報告いたします。

(1)地域共生社会の実現に向けた地域福祉の充実

新型コロナウイルス感染拡大により、生活支援体制整備の協議体開催が自粛となりましたが、地域力を高めるためのフォーラムを開催し、支えあう意識の向上を図りました。そして、福祉ふれあいまつりを開催し、コロナ禍で出来る福祉啓発及びボランティア力の向上を図りました。

(2)住民参加型フードバンク事業の実施及び機能強化

生活課題を抱えた方の把握や利用者との信頼関係構築を目的に、福祉関係団体と連携しながら自立に向けた支援を行いました。また、多くの食料寄付をいただくための受け皿と事業周知を目的にフードバンクポストを市役所、郵便局に設置し、事業拡大と住民参加を呼び掛けることができました。

また、コロナ禍で生活が困窮した世帯の支援や生活の自立に向けた相談会や介護職員を支援するイベント型フードバンクイベントを開催しました。

(3) 権利擁護事業の基盤強化と充実

安中市権利擁護センターでは、成年後見制度の利用を、必要とする方が安心して利用ができるよう、利用相談や専門職相談を実施しました。成年後見利用促進協議会を開催し、機能強化のための意見交換を行い、また、制度の正しい理解や普及のため地域や各団体へ訪問し、周知に努めています。日常生活自立支援事業を含め、個人の尊厳が守られるよう権利擁護に努めました。

令和5年度から法人後見事業を開始するため、4年度は準備委員会を開催し、群馬県や安中市、県社協、裁判所等と適切な事業展開のため意見交換を実施しました。

(4) 介護保険事業の安定した運営と基盤強化

介護運営推進会議を開催し、事業運営や事業の効率化、質の高い介護事業を推進するための具体的な施策を協議しながら事業基盤強化を図りました。そして、新型コロナウイルス感染拡大により、感染対策を強化しながら利用者の生活を支える支援を行いました。

また、虐待防止・身体拘束委員会と感染症対策委員会を設置し、利用者への対応や職員の安全確保するための研修を開催し資質向上を図りました。